

主教品、司祭品、輔祭品、修道者、またすべての敬虔なロシア正教会の信徒らへ
モスクワ及び全ルーシの総主教キリールによる降誕祭の挨拶

主教品、司祭品、輔祭品、修道者、
またすべての敬虔なロシア正教会の信徒らへ

この世界に來られた神の子を祝うこの日、被造物に対する言い尽くせぬ創造者の愛の祭日、人類を救う古來よりの約束の成就の日、大いなるハリストスの降誕を、私は自信の靈の深みから祝い、心よりのお祝いをすべてのみなさんに、この聖なる夜においてごあいさつ申し上げます。

聖師父らは神の藉身について何世紀にもわたり語ってきました。そして今、私たちは、ちょうど先祖らと同じように、教会の祈禱と聖歌の言葉を聞き、敬虔な心をもって栄光ある出来事を聖書を通して聞き、この素晴らしい奇跡に驚きを禁じ得ません。

新神学者聖シメオンは、ハリストスの降誕について以下のように書いております。「彼がこの世界に來られたように、神は……神の本性を人間の本性と結び付けられた。それによって、人は神のように成れるため、そして至聖なる三者は奥秘のうちにその人のうちに住まわれ、恩寵によってその人は神のようになる（第 10 説教）」。またシリアの聖エフREMは、神の藉身を次のように語ります。「今日、神の本性は人間性に証印を押した。それは神の本性の印と共に人間性が美しく装われるためである（ハリストスの降誕の讃歌）」

これらの言葉に注意を傾ける時、いかにしてこの神の印によって私たちは美しく装われるのだろうか？ 世界の創世より神の似姿を実現させるように呼びかけられているが、どうすべきか？ 「あなたがたの内にハリストスの形ができるまでは（ガラティヤ 4：19）」いかに生きるべきか？ このようにわたしたちは自分自身に問いかけるでしょう。その答えは単純です。私たちの救い主が命ずることに従いましょう。聖使徒パウエルと共に私は愛する皆さんに次のように呼びかけたいと思います。「互いに重荷を負い合いなさい。そうすればハリストスの律法を全うするであろう（ガラティヤ 6：2）」。すべてを愛で覆いましょう。そうすれば靈の平安と静けさを得るでしょう。すべてを赦す時、寛大な精神を持ちましょう—そうして「あなたがたから取り去る者はいない（イオアン 16：22）」喜びがあなたがたの心を占めるでしょう。「あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取り（ルカ 21：19）」—永遠の命を得るでしょう。

私たち信仰者にとって、崇高な道徳的理想を追求するだけでなく、事が起こる前に隣人に仕えること、徳のある理想を日常生活の中で実現させることはなんと重要な事でしょう。そして神の恩寵によって、私たちは真の聖神の賜物「愛、喜び、平安、恒忍、仁慈、矜恤、信仰、溫柔、節制（愛、喜び、平和、寛容、寛容、善意、信仰、柔和、自制。ガラティヤ 5：22-23）」を私たち自身の中に保つことができます。

「愛と善行とを励むように互いに努め（エウレイ 10：24）……ようではないか」。分裂と争いを乗り越える時、私たちは説得力を持ってお生まれになった救い主を世界に対して語り、私たちの働きを通して、唯一無二の正教会の美しさと、正教会の信仰の力を証言するのです。

私たちは2017年へと漕ぎ出しました。ちょうど100年前、様々な出来事が大きな多民族国家であるロシア社会を、内戦と言う狂気につき落とし、子供たちはその親たちに反旗を翻し、兄弟同士で争う姿に変えてしまいました。引き起こされた苦難とそれに付随する損失は、建国1000年の歴史の崩壊、信仰における苦難、社会における深い分裂から、人々は何を耐えていかなければならないかを予感しました。

畏敬と尊敬の念を持って、私たちはロシア正教会の新致命者と表信者の大いなる苦役を思い起こし、彼らの祈祷によって、主は私たちを決して見捨てず、大いなる偉業を成し遂げる力、最も大きな戦いで私たちを勝利に導いた事、この国を再建する事、これらを成し遂げることによって賞賛を得ることを私たちは信じています。

この世界に明らかにされた奇跡——信仰の復活と人々の敬虔さ、かつて破壊された聖なる都市の復興、新しい教会や修道院、これらの建設は人々の心に起こる深い変化が目に見える印であり、私たちは神に感謝します。

この何十年かは多くの問題と苦難があり、中には今日まで続いているものもあります。しかし、すべての事は移り変わります。ですからそれらを恐れる必要はありません。過去の世紀からの経験が私たちに多くの事を教え、それらは私たちに多くのことに関する警鐘として役割を果たすはずです。

「神我等と偕にする（神われらと共にいます）」のですから、恐れることなく、救いの道を進みましょう。「神我等と偕にする」のですから、信仰においてより強められましょう。「神我等と偕にする」のですから、私たち自身この希望を宣言しましょう。「神我等と偕にする」のですから、愛において成長し、善き働きを果たそうではありませんか。

聖使徒ペトルが「この人による以外に救いはない（使徒4：12）」と証言しているように、神は「とこしえの岩（限りのない力。イサイヤ26：4）」のですから、全ての希望を主に委ねましょう。ハリストスの光が私たちの地上の歩みを照らし、主が彼を愛する者たちのために備えてくださったこの道が、天の国へと私たちを導きますよう願います。

それぞれの国、それぞれの都市、それぞれの村で暮らすすべてのみなさんと共に、信仰においてこの日を喜びながら、私の祈りの内にある希望は皆さんが霊と身体における健康を享受し、それぞれの家庭に平安と仕事における成功を祈念します。そしてヴィフレムにおいて生まれた私たちの救主が、私たちの生活に主の臨在を心を感じさせ、新たな力を与える機会となることを祈ります。

アミン。

＋キリール
モスクワ及び全ルーシの総主教

主の降誕
2016／2017